



南部教育事務所便り「南の風」

令和7年9月1日 南部教育事務所 第4号



令和7年度地域と学校の未来創造ミーティング

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の理解を深め、実践への動機付けを図ることを目的に、「地域と学校の未来創造ミーティング」を開催しました。教職員や学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員等が参加し、地域や学校で子どもたちを支えるために自分たちができることや熟議の場づくりについて考えました。

北諸県地区は7月29日（火）都城市の早水公園体育文化センターで、西諸県地区は7月30日（水）小林市の小林中央公民館で開催しました。

参加者が、自分の考えや思いを存分に語り合い、主体的に対話に参加する姿が見られました。



学校運営協議会での熟議の可能性や必要性を考える時間になりました。

講 話

■講師

特定非営利活動法人まちと学校のみらい
代表理事 竹原 和泉 氏

■講話の内容

「地域と学校の連携・協働について」と題して御講話いただきました。

誰かが何とかしてくれるのではなく、自分たちが「当事者」として、子どものみらいのため、まちのみらいのために関わっていくことの大切さを教えていただきました。



対 話

■対話のテーマ

「ふるさとを好きになる子どもを育てるために」

グループでふるさとへの思いや、学校と地域のつながりを語り合うことで、対話の大切さを感じてもらいました。また、学校運営協議会において、地域や学校の課題をテーマにした熟議をどのようにして設定すればよいかも考えてもらいました。



円卓テーブルで対話を行いました。

参加者の声 ～アンケートより～

- ・学校運営協議会では、学校の課題を本音で伝えることが、有益な熟議につながることを実感できました。
- ・今回得たものを自校の学校運営協議会の議題として早速活用してみたいと思います。
- ・円卓テーブルが素晴らしかった。熟議が盛り上がりました。

今回使用した円卓テーブルは、直径1メートルほどの丸い段ボールの板で、参加者（4・5人）が円座になって膝の上に置いてテーブルの代わりに使用するコミュニケーションツールです。

円卓テーブルを使うことによって、「参加者同士の距離が近くなり、深い対話が生まれます。」「全員が等距離に座るため、グループに一体感が生まれます。」「参加者同士が協力し合うことで、協働が生まれます。」

研修や会合等で円卓テーブルの貸し出しを希望される場合は、下記までお問い合わせください。

南部教育事務所のホームページでも、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521

Fax (0986)25-8914

